

本日は都立小平南高等学校の創立 40 周年の記念式典です。私たちはこの節目の年に小平南高校の生徒でいられることを、又このように式典を行えますことを誠にうれしく感じております。40 年という長い歳月の重みはまだ高校生である私たちの想像には遠く及ばないところです。このように長く小平南が続いたのはその時その時の先生方、PTA をはじめとした保護者の方、地域の皆様、先輩方の努力があったからです。そのことを思うと皆様への感謝とともに、今小平南で学ぶことができている毎日を幸せに思います。

さて、みなさんは小平南の効果の歌詞をじっくりと読んだことはありますか？コロナウイルス感染症対策の影響で始業式や行事の際に校歌を歌うことがなかったのでよく知らないという人もいます。小平南の校歌の歌詞を作ってくださったのは本校の初代校長西村文男先生です。今年の 4 月にご逝去されてしまったのですが、最後の最後まで小平南高校のことを気にかけてくれていたそうです。この歌詞にも西村先生の小平南への愛情が込められていると思います。1 番の歌詞には高い理想を掲げて努力してほしいという思いが、2 番にはまっすぐに自分の友と師と心ひとつに限りない未来を望んでほしいという思いが、3 番には古き良き歴史を受け継ぎつつ新しい文化を担う人物としてはばたいてほしいという思いが込められています。恥ずかしながら私は校歌について全く知らなかったのですが、今回詳しく調べてみて西村先生が小平南の生徒の今後の可能性を信じ、それが良いものであってほしいという思いやりを感じました。頑張れよと活を入れられたような、優しく背中を押されたような気持ちになりうれしくなりました。私が特に心に残った歌詞は 1 番の「理想の燈火高くかかげ孜々として日々勉め励む」というものです。ついつい諦めてしまいそうになったり、落ち込んで色々なことが嫌になってしまう時がありますがこの歌詞はそんな時にも努力し続けようと思わせてくれます。

また、私は今回、この挨拶をさせていただくにあたって小平南について少し調べました。40 年前校舎の完成が間に合わず、1 期生の入学式は都立小金井北高校で、1 学期の授業は都立田無高校で行われたそうです。そして現在の校舎で授業が始まったのは 2 学期からだったのです。私自身そのことを全く知らなかったのでとても驚きました。みなさんは当時の校舎の様子を知っていますか。本校の校歌の「白亜の学び舎いま聳え立つ」という歌詞の通り美しい真っ白な校舎だったのです。そこから約 30 年経ち改修工事が行われ、今の私たちもよく知っている校舎になりました。改修工事の際はプレハブ校舎での生活や体育祭では外部のグラウンドを借りたり、公孫樹祭を体育館で行うことができなかつたりと苦労があったそうです。そしてこの工事で温かみのある木目調になったり、空調が入ったりと私たちにとっては当たり前ですが、より快適な校舎になったのです。このことを思うと今ある良い環境を大切にしながら、学校生活を楽しくしていきたいなと思います。

さらに今日のために 40 周年のプロジェクトと題し生徒が中心となって記念作品の準備を行いました。美術部と有志の生徒と先生が描いた 2 つの記念絵画、写真部によって撮影された小平南の日常を切り取った写真作品、有志の動画編集が得意な人が PV の作成をしてくれました。このプロジェクトメンバーは約 1 年前に結成され小平南の生徒や先生と協力しな

がら活動をしてきました。記念絵画と写真作品は本校の図書室横の掲示板に飾られる予定で、PVはこの式典の後に流れます。お楽しみにしてください。

このように小平南高校は特にこの30周年から40周年の間に改修工事やみなさんもお存じのコロナウィルス感染症対策によって行事をはじめとする伝統の継承が厳しくなってしまったことがありました。しかし、少しずつもとの生活に戻り今年度の公孫樹祭はみなさんのご協力のおかげもあって一部有観客で行うことができました。まだ、元通りの生活に戻ったという訳ではありませんが、今後もなんとか途切れずに続いてきた小平南の伝統を継承し、そして更に発展させていきたいです。そのことをここに誓い私の挨拶とさせていただきます。

令和4年11月2日
生徒代表 中村莉子